



ふるさとに
エールを。

公益信託

荘内銀行ふるさと創造基金

募集期間

2023年 1月5日 木 ▶ 2月17日 金



株式会社荘内銀行
頭取 松田 正彦

豊かで潤いのある地域社会の実現に向けて

公益信託荘内銀行ふるさと創造基金は、2001年に当行が設立した基金です。運営委員の皆さまをはじめとする多くの方の力をお借りしながら運営を継続しており、2022年度までに山形県内の学校教育、社会教育、文化活動を対象として、延べ928件に助成を行いました。

荘内銀行は、フィデアグループサステナビリティ方針のもと、地域社会・地域経済の持続的な発展に貢献していくことを目指しています。ふるさとの未来を展望し、教育・社会・文化の面で地域課題解決に力を尽くすことは当行の重要な使命であり、地域に根差した活動の継続、発展を支援する本基金は、持続可能な地域社会を実現するうえで重要な役割を担っていると感じています。

山形県内で熱意をもって活動されている皆さまに本基金をご活用いただき、地域の未来を担う人材の育成、優れた文化の伝承と創造が推進されることを祈念しております。

基金設定趣意書

当行は明治11年の創業以来、地域金融機関として2つの世紀にわたり、地域の皆様の温かいご支援を頂き、今日まで地域とともに発展してまいりました。

また、未来に向けた荘内銀行のメッセージも「地域の発展と共にある銀行」であります。21世紀の門出にあたり、永年、当行を育てていただいた地域へ感謝するとともに、「公益信託荘内銀行ふるさと創造基金」を設置し、生涯学習活動と芸術・文化活動を支援し、もって真に豊かで潤いのある地域社会を築くために役立てたいと念願するものであります。

2001年4月 株式会社荘内銀行

[基金概要]

信託目的：この公益信託は、株式会社荘内銀行が山形県内において、優れた人格と知性を備えた人間を育成し、あわせて優れた文化の伝承と創造の促進を目指し、真に豊かで潤いのある地域社会を築くために、学校教育、社会教育及び文化活動への支援を通して教育・文化の向上と推進を図り、もって地域社会の発展に寄与するために設定するものです。

対象となる活動：○学校における教育的な活動 ○地域住民と一体となった社会教育的な活動 ○県内に伝わる文化的な活動

委託者：株式会社荘内銀行(山形県鶴岡市本町一丁目9番7号)

受託者：みずほ信託銀行株式会社(東京都千代田区丸の内一丁目3番3号)

信託管理人：柴田直人(弁護士)

運営委員：廣瀬 渉(元山形県教育委員会 教育長)

酒井 忠久(公益財団法人 致道博物館 館長)

寒河江 浩二(株式会社 山形新聞社 代表取締役社長)

柴田 曜子(元山形県立鶴岡南高等学校 校長)

沼野 慈(特定非営利活動法人 NPO もがみ 理事長)

伊藤 浩志(国立大学法人 山形大学 教授 大学院有機材料システム研究科長)

上野 雅史(鶴岡商工会議所 会頭)

公益信託の形態：特定公益信託

主務官庁：山形県教育委員会

当基金に対し、オリエンタルモーター株式会社様より継続してご寄付を頂戴しております。

これまでの助成先

学校 教育

やまがたAI部運営コンソーシアム

助成事業:やまがたAI部

AI・デジタル人材の育成を目的に、産学官金が連携し「デジタル人材育成プロジェクト」を展開。高校生を対象に、エンジニアによるオンラインAI講座やものづくり企業の見学、AIでゆでたまごの状態を予測する実験など身近なテーマを通じて、知識・技術の体得をサポートしています。年々参加校が増えており、実験道具やテキストなど学習環境の整備に当基金を活用しました。

また、AIを活用した地域課題解決に向けた取り組みなどの成果を発表する場として、毎年3月に「やまがたAI甲子園」を開催。生徒がそれぞれの技術やアイデアを高め合うとともに、自信や達成感を得る機会となっています。



社会 教育

櫛引歴史バトンプロジェクト実行委員会

助成事業:櫛引歴史バトンプロジェクト

鶴岡市櫛引地域ゆかりの偉人の生涯を舞台化して次の世代に語り継ぐこと、地域を学び深く知ること、郷土愛を醸成することを目的としたプロジェクトで、活動の中に地域を巻き込み、世代間の交流が図られることを重視しています。

助成事業の櫛引歴史バトンプロジェクト・地域住民参加型朗読劇「野に咲く花は、空を見ている 言語学者齋藤秀一^{ひでかつ}の物語(2021年)」では、旧櫛引町出身で、エスペラント語を通じて世界平和を訴えた同氏を取り上げ、地元の児童や劇団の協力・参加により舞台化。上演に向けワークショップや講演会を開催するなど、朗読劇の効果をより高めたほか、地域に一体感を生み出しています。



文化 活動

伝統工芸「原方刺し子」を伝承する会

助成事業:米沢藩の江戸時代から伝承されている伝統工芸品の新たな伝承へ
～地域の宝を守り、活用して宝を保持するまちづくりに向けて～

「原方刺し子」は、江戸時代に米沢藩の下級武士「原方衆」の妻たちの間で生まれ、デザイン性が高く海外からも高い評価を得ている伝統工芸でありながら、後継者の育成と技術の伝承が課題となっていました。

課題を解決するため、米沢工業高等学校専攻科と連携しITを活用した新たな伝承方法を考案。当基金を活用し、技法の映像化と図柄のデジタルデータ化を行い、さらにスキルに応じた刺し子体験ができる「刺し子学習キット」を制作しました。初心者でも気軽に体験できるようになっただけでなく、オンライン体験教室では県外や海外からの参加も多くみられるなど、世代や場所を問わない普及・継承の方法を確立しました。



助成のポイント

当基金では、さまざまな団体・個人が多く関わる活動を通じて、その成果が地域に広く波及することを重視しています。また、活動の内容が、公益性が高いものであることも重要です。

申請の際は、継続事業の充実や新規事業の計画でこのようなポイントを教えてください。皆さまの工夫やチャレンジが一過性のものになることなく、継続的・発展的に取り組まれることで地域課題の解決が着実に進むことを応援します。

荘内銀行ふるさと創造基金地域貢献大賞

これまでの助成団体の中から、地域文化の普及や地域課題の解決など、豊かな地域社会の創造に向けた独自の活動を展開し、活動の継続性と発展性の面で顕著な取り組みがあった団体に贈呈しています。2012年に開始し、累計28団体に贈呈しました。

2022年度受賞団体

👑 念珠関辨天太鼓創成会

鼠ヶ関(鶴岡市)に新しい文化を創造すること、その文化を受け継ぐ人材の育成を目的に、創作和太鼓の演奏活動を行っています。地域の介護施設や福祉施設に出向き、ボランティアで演奏を披露するなど地域への貢献度も高く、1991年の発足以降30年以上にわたり活動を続けたことで、さまざまな文化イベントに招聘されるなど鼠ヶ関の文化活動として根付いています。

地元小学生が中心の子ども太鼓では、礼儀やチームで助け合うことの大切さなどを学びながら、豊かな人間性と社会性を育ていくことを重視。後継者の育成も順調で、継続的な活動として発展し続けています。

子どもたちの健全育成や郷土愛の醸成に寄与するだけでなく、地域の活性化、賑わい創出にもつながる取り組みです。



👑 やまがたメイカーズネットワーク

ものづくりの次代を担う人材の育成を支援するため、県内教育機関に県産部品を活用し製作した3Dプリンターを寄贈するプロジェクトを展開。学校など86教育施設に107台を寄贈しました。

寄贈数が100台に達したことを機に、活動の重点を活用面に移し、活用事例集の作成や活用アイデアコンテストの実施などに発展。寄贈校では3Dプリンターを活用した独自の取り組みや学校同士の連携が生まれており、支援も積極的に行っています。

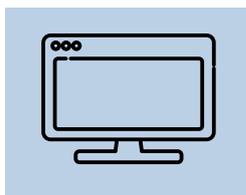
また、技術を生かしたロボット教室やプログラミング教室を実施しているほか、地域の子どもたちとともに電動義手やフェイスシールドの製作を行うなど社会貢献的な活動にも注力。

地域への波及効果が高く、未来を担う優れた人材の育成に大きく貢献しています。



詳しくはホームページをご覧ください！

過去の助成先や地域貢献大賞受賞団体の紹介など、ここで紹介しきれなかったさまざまな情報をご覧ください。また、申請書のダウンロードや記入例の確認などもこちらからどうぞ。



荘内銀行 ふるさと創造基金

検索

URL : <https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/kouekijyosei.html>
※当基金ホームページは、荘内銀行ホームページ内にご覧いただけます。



荘内銀行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

募集要項

公益信託荘内銀行ふるさと創造基金 募集要項

趣旨	山形県内における学校教育、社会教育、文化の振興に関する生涯学習に資する活動を支援します。				
助成の対象となる活動	<ul style="list-style-type: none">○ 学校における教育的な活動○ 地域住民と一体となった社会教育的な活動○ 県内に伝わる文化的な活動				
助成の対象とならない事項	<ul style="list-style-type: none">○ 宗教的、政治的宣伝意図を有する活動○ 営利を目的とする団体・個人およびその活動○ 反社会的勢力もしくはそれらと密接な関係がある団体・個人およびその活動				
助成対象活動期間	2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)				
助成金額	1団体につき10～40万円、かつ活動の所要額を限度とします。活動内容や活動規模および申請額に基づき、金額を決定します。				
助成金の使途	活動に関する費用であれば、機材費、会場費、消耗品費、旅費、謝礼金等を含め、その内容を問いません。ただし、人件費は対象外です。				
助成の方法	<p>助成先決定にあたっては、運営委員会による審査・選考がございます。</p> <table border="1"><thead><tr><th>選考基準</th></tr></thead><tbody><tr><td><ul style="list-style-type: none">○ 地域の教育力を高める、または教育環境を整える活動であること。○ 個性的・先進的な取り組みで、地域に密着した活動であること。○ 夢のあるチャレンジ精神豊かな活動であること。○ その他公益信託の設定趣旨に基づいた活動であること。</td></tr><thead><tr><th>助成決定時期・通知と支払時期</th></tr></thead><tbody><tr><td><ul style="list-style-type: none">○ 選考結果は、2023年4月下旬～5月上旬に、書面で通知いたします。○ 助成金の支払いは、2023年7月下旬を予定しています。</td></tr></tbody></tbody></table>	選考基準	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の教育力を高める、または教育環境を整える活動であること。○ 個性的・先進的な取り組みで、地域に密着した活動であること。○ 夢のあるチャレンジ精神豊かな活動であること。○ その他公益信託の設定趣旨に基づいた活動であること。	助成決定時期・通知と支払時期	<ul style="list-style-type: none">○ 選考結果は、2023年4月下旬～5月上旬に、書面で通知いたします。○ 助成金の支払いは、2023年7月下旬を予定しています。
選考基準					
<ul style="list-style-type: none">○ 地域の教育力を高める、または教育環境を整える活動であること。○ 個性的・先進的な取り組みで、地域に密着した活動であること。○ 夢のあるチャレンジ精神豊かな活動であること。○ その他公益信託の設定趣旨に基づいた活動であること。					
助成決定時期・通知と支払時期					
<ul style="list-style-type: none">○ 選考結果は、2023年4月下旬～5月上旬に、書面で通知いたします。○ 助成金の支払いは、2023年7月下旬を予定しています。					
助成金の返戻	申請活動が中止または継続不能になった場合、助成金の全部または一部を返戻していただきます。				
報告の義務	助成を受けた団体には、助成対象事業終了後すみやかに、活動の結果および会計についてご報告(領収書も添付)いただくこととなります。				

「申請書」「補足資料」はデジタルデータでEメールにてご提出ください

応募の際は、ホームページおよび募集要項を必ずご確認ください。

募集期間	2023年1月5日(木)～2023年2月17日(金)事務局必着
応募書類	<p>○申請書(Excel ファイル)※「荘内銀行ふるさと創造基金ホームページ」よりダウンロードしてください。</p> <p>申請書ダウンロード▶ <input type="text" value="荘内銀行 ふるさと創造基金"/> <input type="button" value="検索"/></p> <ul style="list-style-type: none">ダウンロードした Excel ファイルに必要事項を入力* ホームページに記入例を掲載しています。
	<p>○補足資料(原則 PDF ファイル)</p> <ul style="list-style-type: none">活動内容、事業内容が具体的にわかるものA4 サイズ 5 ページ(枚)以内* 冊子等で 5 ページ(枚)以上となる場合は、抜粋してください。* 可能な限りPDFファイルでご用意ください。
応募方法	<p>○応募はEメールのみ</p> <ul style="list-style-type: none">当基金専用メールアドレス(s-furusatokikin@fidea.co.jp)宛に応募書類のファイルを添付のうえお送りください。メールの件名は「2023 年度助成申請_申請団体名」としてください。メール本文に団体名、送信者の氏名、連絡先を記載してください。添付ファイルを含めたメールの容量は 8MB 以下となるよう調整してください。* 8MB を超えると受信できません。受信を確認したい場合は電話にてご連絡ください。* 8MB を超える場合は、分割で送信し、メール件名の最後に 1/2、2/2 と補記してください。
留意事項	<ul style="list-style-type: none">応募書類は、審査資料となります。変更のないよう十分ご検討のうえご応募ください。応募のメールを受信した後、3 営業日以内に事務局から受取確認のメールをお送りいたします。受取確認のメールが届かない場合は、受信できていない可能性がございますので、必ず電話にてご連絡ください。Eメールでの応募、書類提出が難しい場合は、事前にご相談ください。ご提出書類等で得た個人情報、基金の運営においてのみ使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

申請書のダウンロード・応募・お問い合わせ



申請書のダウンロードはホームページから

URL: <https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/kouekijyosei.html>



ホームページおよび募集要項を必ずご確認ください。



応募・お問い合わせ

s-furusatokikin@fidea.co.jp



お問い合わせ

023-626-9006

[受付] 平日 9:00～16:00

荘内銀行広報CSR室内 公益信託荘内銀行ふるさと創造基金 事務局

[住所] 〒990-0043 山形県山形市本町一丁目4番21号